



太平洋系マイワシ不漁



銚子港のイワシの水揚げ

6月に解禁した今期の北海道東沖のマイワシ漁は8月下旬まで一度も操業が無く、漁獲ゼロの不漁だそうです。研究者の指摘として2024年にロシアが約59万トン超、中国が約26万トン、2025年には中国が約30万トンといずれも漁獲量が近年で最高水準と過剰だったことが一因としてあるのではとのこと。一方、日本海側の水揚げ量は18年以降で最多の好漁が続いており、研究者は一部の魚群が太平洋から移動した可能性があり、好漁の一因となった可能性もあると指摘しています。

近大発ハイブリッド魚 “クエタマ”



近畿大学水産研究所はブリとヒラマサの交雑種のような「ハイブリット魚」の研究生産に注力してきましたが、今、期待を寄せているのが、高級魚「クエ」と大型魚「タマカイ」のハイブリット。高級魚のクエに高水温でも生息可能で成長も早いタマカイの特徴を活かしています。現在は陸上養殖業者に幼魚を供給。今後の生産尾数拡大に期待です。

入荷状況&商品情報



いよいよ、9月1日(火)より底引き漁が解禁となります。店頭には3日(木)から商品が並びます。

調査によると今年もアマエビは潤沢に供給される見込みですが、今後3年以降からは漁獲量が減少する可能性があります。

●底引き網漁

解禁で魚種も増えてきます。甘エビ、ガスエビ、シマエビといったエビ類、毛ガニ、カレイ類、メギス、ミズウオなど。(写真は左上から時計回りにアマエビ、ガスエビ、ミズウオ、メギス)

9月の主な魚種

甘エビ
シマエビ ◎
ガスエビ ◎
赤カレイ
ササカレイ
ハチメ
メギス ◎
ミズウオ ◎
ハタハタ



●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。